

議案第14号 平成29年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案  
の提出について

上記の修正案を別紙のとおり、地方自治法第115条の3及び久喜市議会会議  
規則第17条の規定により提出します。

平成29年3月17日提出

発議者 久喜市議会議員

杉 野 修  
渡 辺 昌 代  
石 田 利 春  
平 間 益 美

久喜市議会議長 柿 沼 繁 男 様

(別紙)

平成29年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案

議案第14号 平成29年度久喜市水道事業会計予算を次のとおり修正する。

第3条で定める収益的収入及び支出の予定額を次のとおり修正する。

収入

	原案の金額	修正案の金額
第1款 水道事業収益	4,155,443 千円	4,065,243 千円
第1項 営業収益	3,701,305 千円	3,611,105 千円

## 提案理由

議案第14号平成29年度久喜市水道事業会計予算を次の理由から修正します。

貧困と格差が拡大する社会経済情勢のもとで、社会的弱者である母子世帯・高齢者・障害者などの暮らしに大きな影響が出ています。給水停止に至った家庭は平成28年3月31日現在2182世帯、停止継続件数は676世帯にのぼります。

市は水道事業の中期計画を策定し事業を進めて来ました。料金改定以降の水道事業の特徴は、計画以上純利益があり、キャッシュフローも余裕が生まれたことから、建設改良費である浄水施設費や配水管布設費など、中期計画を前倒しし、事業を進めて来たことが特徴です。

市の説明によると、財政収支計画では平成27年度末時点で37.6%を達成する計画が、実績は45.8%まで進み、前倒し分の建設改良費事業金額は約9億円となっています。計画以外の緊急を要する新たな事業も進めておりその金額は4679万円です。

企業債の返済は中期計画時点で43億円であったものが平成27年度現在30億円まで減少、合併時点から見ると24億円を返済し今後も毎年3億円返済し続け、順調に返済できる見込みです。料金改定前に抱えていた借入残金を、料金改定後の収益で返済に充てていると言えます。

直近の平成27年度決算、純利益約9億円、補填財源としているキャッシュフローは約31億円を維持し、中期計画と比べてみると約3億3681万円の超過額です。平成28年度の予定純利益は5億7923万円が見込まれています。

久喜市の水道料金を、埼玉県58市町と比較すると平成27年4月1日現在13ミリ口径10m<sup>3</sup>使用時、税込で1630円と2番目に高い位置にあります。埼玉県の平均額は1125円です。

久喜市の地形は平坦で水道事業を進めて行く上で特別条件が悪い市ではないと考えます。職員の皆さんの頑張りが顕著で、その裏付けとも言える有収率は平成27年度91.8%と高い率です。給水原価も埼玉県の平均よりも低い位置にあります。

修正案は、市民が使用する13mm口径、20mm口径、25mm口径利用の基本料金の見直しです。基本料金を10%引き下げる提案で、合計金額は9020万円となります。

高齢化が進んでいること、一人世帯が多いことを考えると、基本料金を下げることで、水道水を多く使わない世帯に値下げ効果が大きいと言えます。

ささやかな支援とも言えますが、市民の暮らしを支援すること、公共の福祉増進に向けた水道事業運営の一環として、水道使用の基本料金を引き下げる修正案を提出するものです。